

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

# 1

## 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があります。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意	
<p>湯水を逆配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>	<p>給湯側 給水側</p>
<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温で使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>OK 85℃以下</p>
<p>禁止 製品に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p>	

⚠ 注意	
<p> 分解禁止 修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p>	
<p>フィルター掃除をする際は、いきなりフィルターを緩めずに、止水栓を閉めてから行ってください。 湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>止水栓 フィルター</p>
<p>目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。 使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。</p>	
<p><b>ケルツクシャワー</b> 必ず調圧弁を取り付けてください。 調圧弁と組み合わせて使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>調圧弁</p>

# 2

## 仕様

給水・給湯圧力	使用必要水圧	0.05MPa (流動圧) (クリックシャワーの場合は0.07MPa)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
	一般地用	0~40℃
使用環境温度	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
	用途	バブルクック及び一般住宅浴室用

# 3

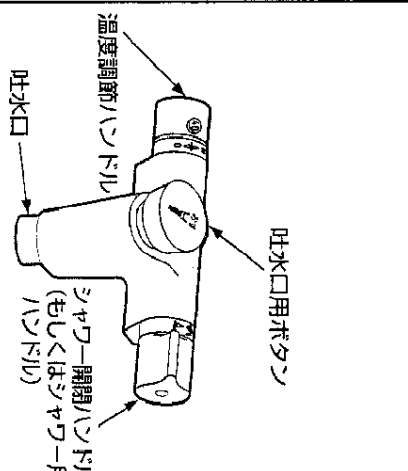
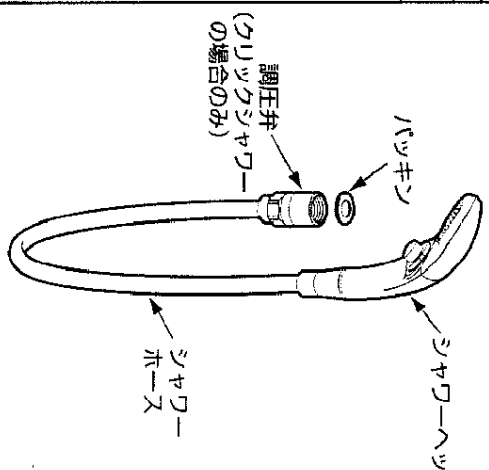
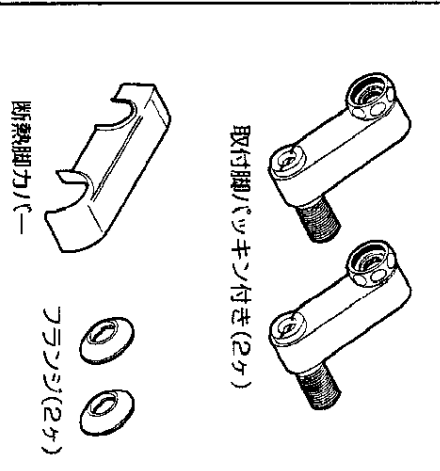
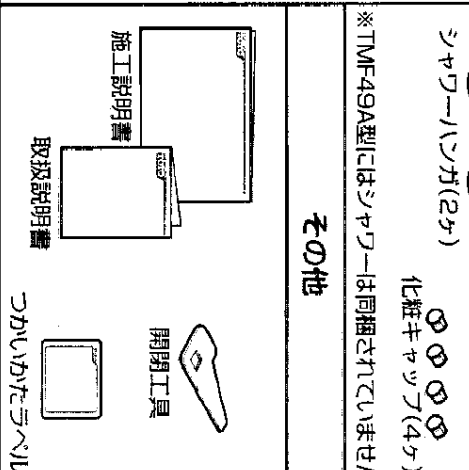
## 取付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 通水検査をしますので水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。

# 4

## 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

<p>水栓本体部</p> 	<p>シャワー部</p> 
<p>取付脚部</p> 	<p>その他</p> <p>※TMF49A型にはシャワーは同梱されていません。</p> 

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

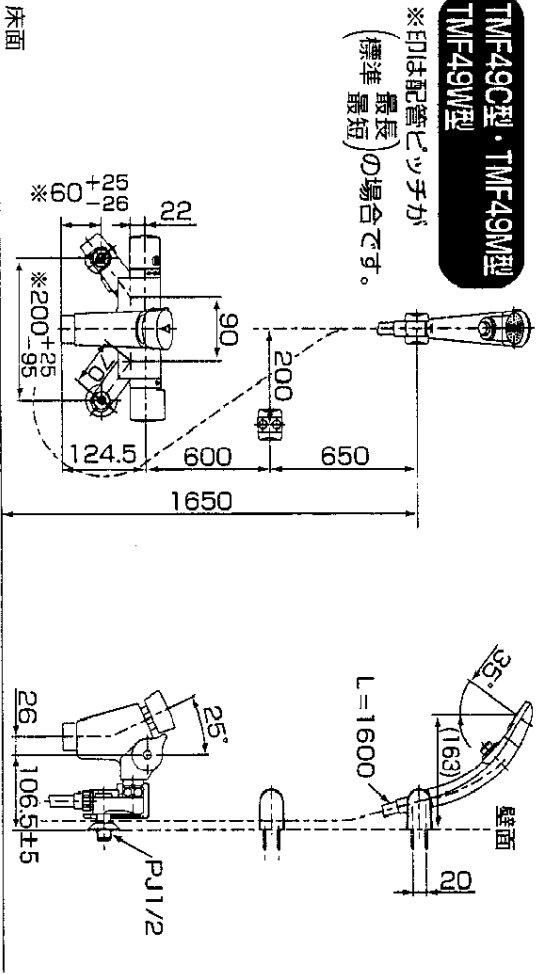


# 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

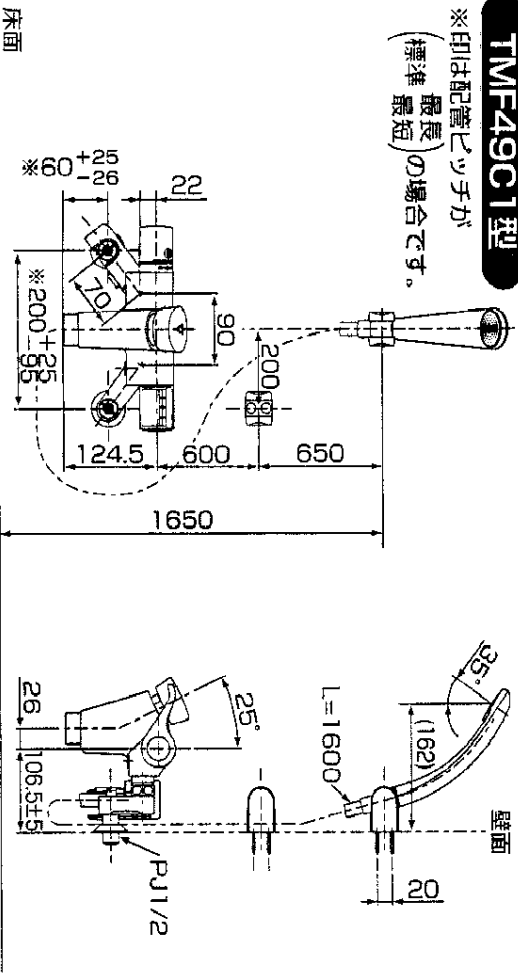
## TMF49C型・TMF49M型 TMF49W型

※印は配管ピッチが  
(標準 最長 最短)の場合です。



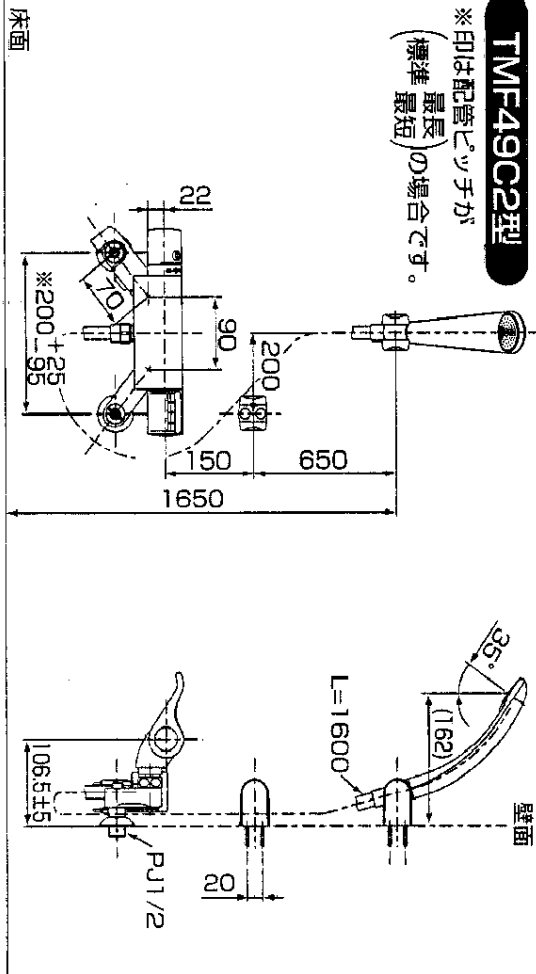
## TMF49C1型

※印は配管ピッチが  
(標準 最長 最短)の場合です。



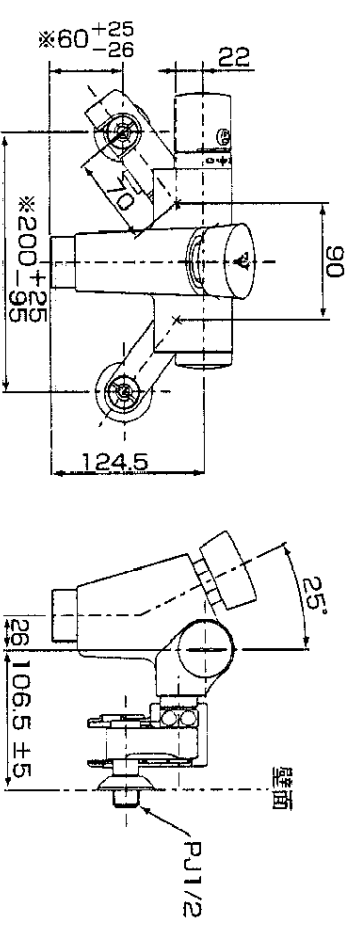
## TMF49C2型

※印は配管ピッチが  
(標準 最長 最短)の場合です。



## TMF49A型

※印は配管ピッチが  
(標準 最長 最短)の場合です。



床面

床面

床面

壁面

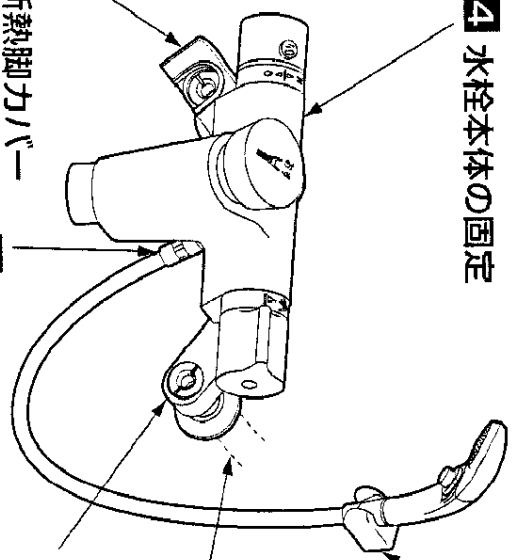
壁面

壁面

壁面

壁面

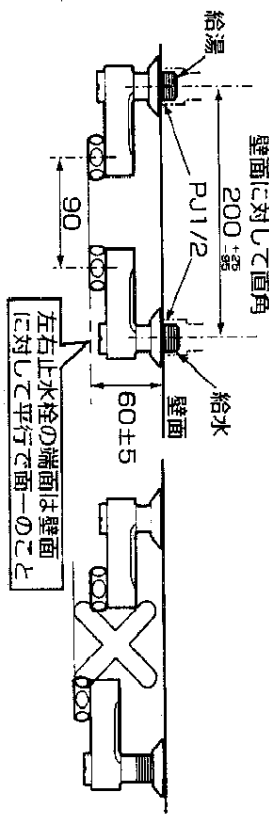
- 4 水栓本体の固定
- 5 シャワーハンガの取付け (シャワー金具の場合)
- 1 給水管内の掃除
- 2 取付脚の取付け
- 3 シャワーホースの取付け (シャワー金具の場合)
- 6 断熱脚カバーの取付け



**重要**

1 給水管内の掃除  
器具を取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

2 取付脚の取付け  
取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)  
壁面に対して直角  
200±5  
給湯  
給水  
壁面  
60±5  
左右止水栓の端面は壁面に対して平行で面一のこと

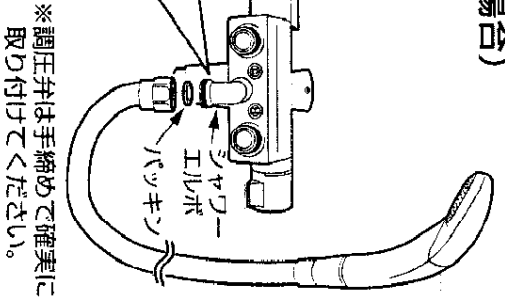
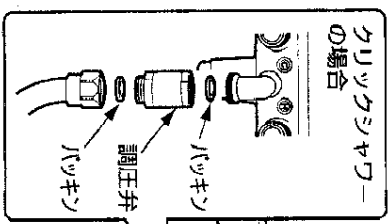


3 シャワーホースの取付け (シャワー金具の場合)  
シャワーホースを図のように取り付ける。

**注意**

- パッキンが入っていることを確認してください。
- クリックシャワーの場合必ず調圧弁を取り付けてください。

調圧弁と組み合わせて使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。

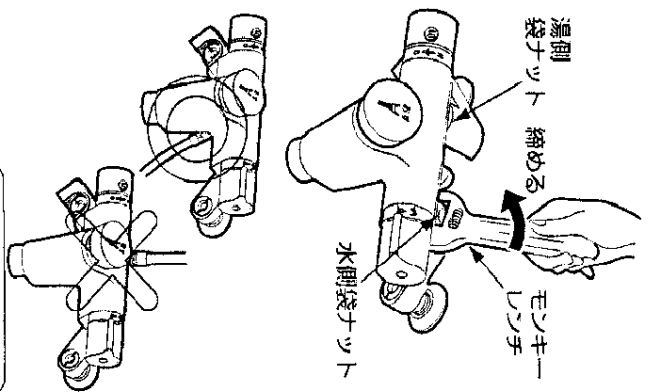


4 水栓本体の固定

- ①水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。

**注意**

- 緩みがないようにしっかりと締めてください。袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- 取付脚は回さないでください。配管との接続が緩み水漏れのおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。



裏面へつづく

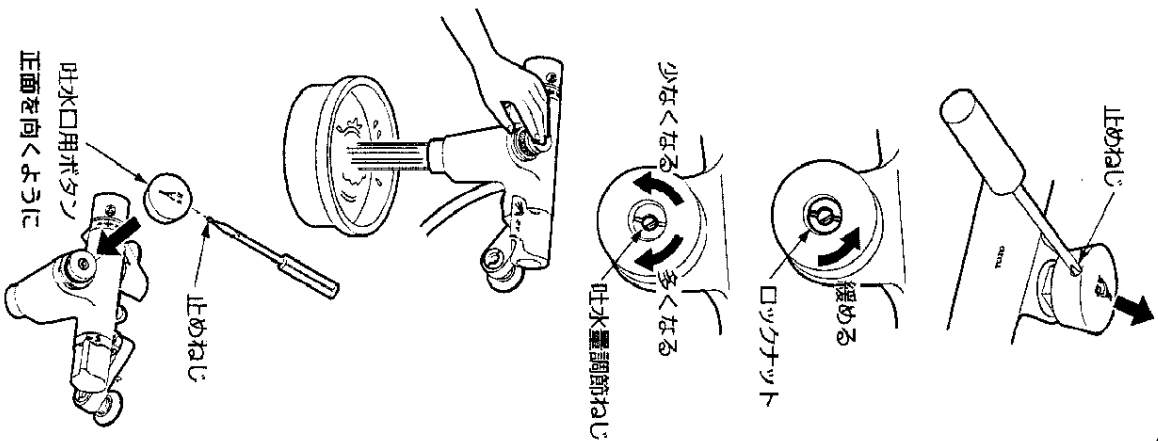




## 4. 吐水量の調節

1. 止めねじを緩めて吐水口用ボタンを  
引き抜き、取り外す。
2. ドライバーでロックナットを  
緩める。
3. ロックナットの穴よりドライ  
バーを差し込み、吐水量調節  
ねじを回す。  
時計回りに回すと吐水量が多くなり、  
反時計回りに回すと少なくなります。  
(一回回転で約2Lの調節ができます。)
4. ハンドルを一度押し吐水量  
を確認する。
5. お好みの量に調節し、ロック  
ナットを確実に締め付けた後、  
取り外しと逆の手順で取り付  
ける。

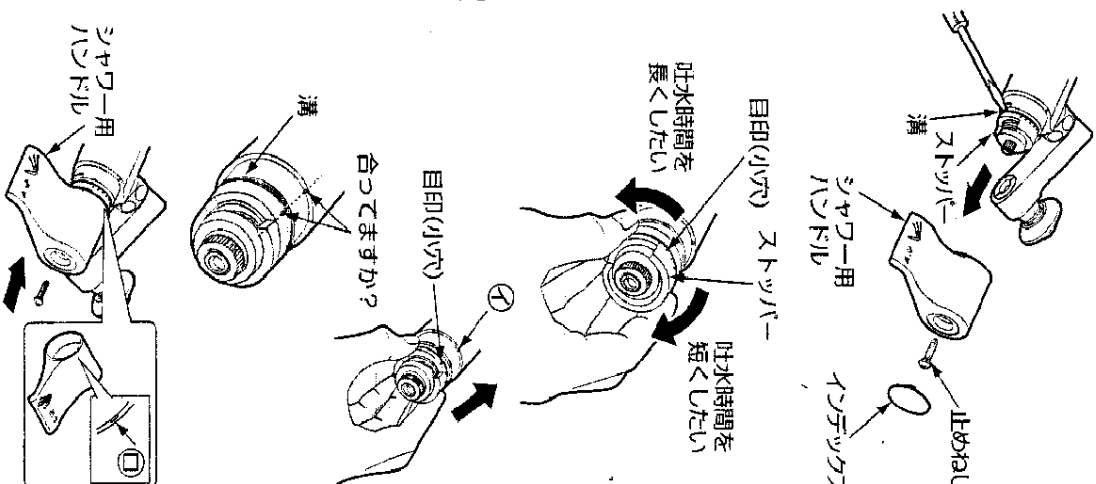
※吐水口用ボタンをスクラが正面を向く  
ようにはめ込んでください。  
※止めねじは緩まないよう十分締め付け  
てください。



## 5. シャワー側の吐水時間調節

TMF499C1型・TMF499C2型

1. インテックス及び止めねじを  
取り外し、シャワー用ハンド  
ルを取り外す。
2. ストップバーの溝部にマイナス  
ドライバーなどを差し込み、  
ストップバーを引き出す。
3. ストップバーをはめかえて吐水  
時間を調節する。  
右に回すと吐水時間が短くなり、左に  
回すと吐水時間が長くなります。  
※目安としてストップバーに目印(小穴)を  
15°毎に設けています。調節は半ピッチ  
(7.5°)毎にできます。半ピッチを  
動かすことにより、約10秒の調節が  
できます。
4. ストップバーの目印(小穴)を本体  
の印①に合わせてはめ込む。  
このとき、ストップバーの溝部がナットの  
端面と合うまでストップバーを押し込んで  
ください。  
※ストップバーを確実に押し込まないと  
作動不良の原因となります。
5. シャワー用ハンドルを本体の  
印①とハンドル内側の印②を  
合わせて取り付ける。  
※印がずれると設定した吐水時間が得  
られなくなります。
6. シャワー用ハンドルを一度押  
して吐水時間を確認する。
7. お好みの時間に調節した後、  
止めねじを締め付け、インテッ  
クスを取り付けける。



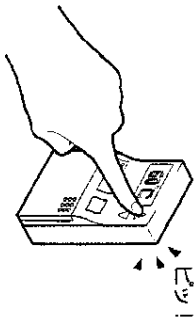


## 6. 吐水温度の確認

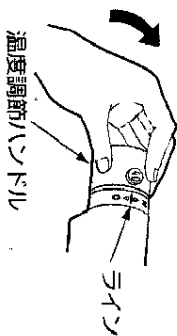
温度調節ハンドルは工場設定してありますが使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確かめてください。

### 1. 給湯機の給湯温度を設定する。

給湯機の給湯温度は、吐水温度より10℃以上高く設定してください。

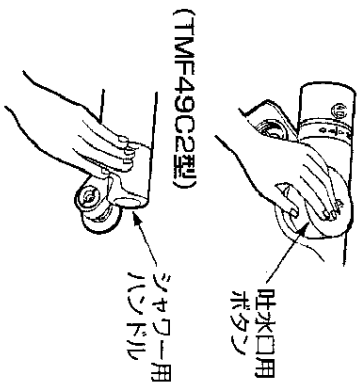


### 2. 温度調節ハンドルの目盛り“40”をラインに合わせる。



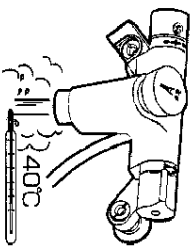
### 3. 吐水口ボタンもしくはシャワー用ハンドルを押して離す。

吐水口もしくはシャワーから一定時間水が出て、自動的に止まります。



### 4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が適温(およそ40℃)であればそのままで使用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、「4. 温度調節ハンドル」の設定を参照の上、温度調節ハンドルを設定し直してください。



## 7. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示通りになっていないときに行ってください。

### 1. 吐水口ボタンもしくはシャワー用ハンドルを押して離す。

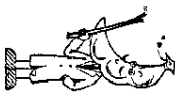
吐水口もしくはシャワーから一定時間水が出て、自動的に止まります。

### 2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく40℃の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り“40”付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

### 3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。

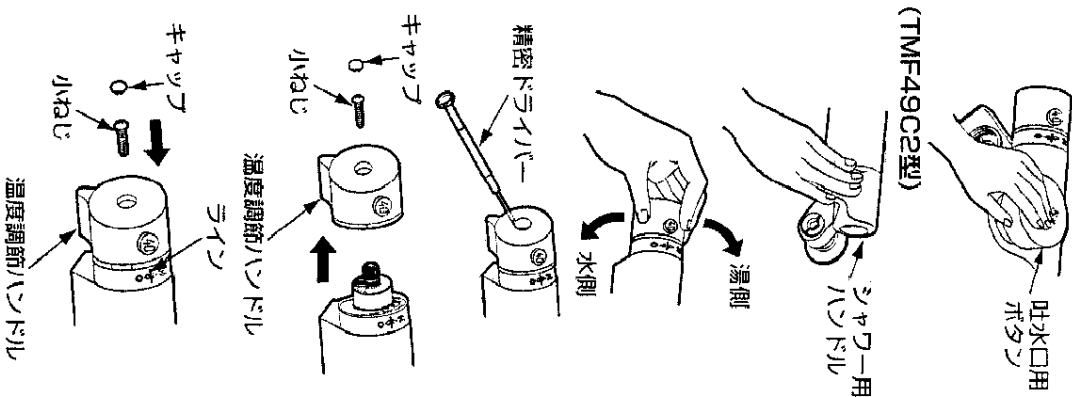


**豆知識**  
キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。

### 4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

安全ボタン“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。

### 5. 固定後に40℃の湯が出ているか確認する。



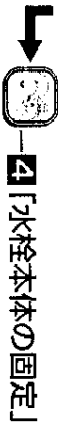
# 点検項目

取り付けが完了した後、次の項目を確認してください。

## ガッツキの確認

水栓本体のガッツキがないか確認してください。

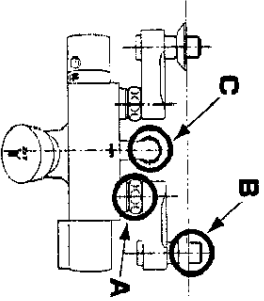
袋ナットの緩みはないですか？



参照

## 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

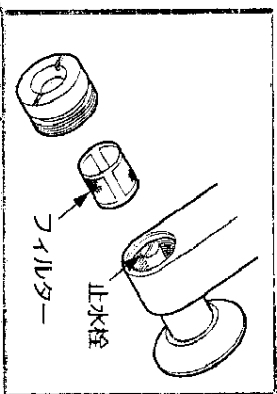
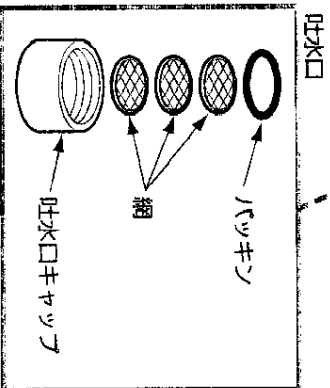
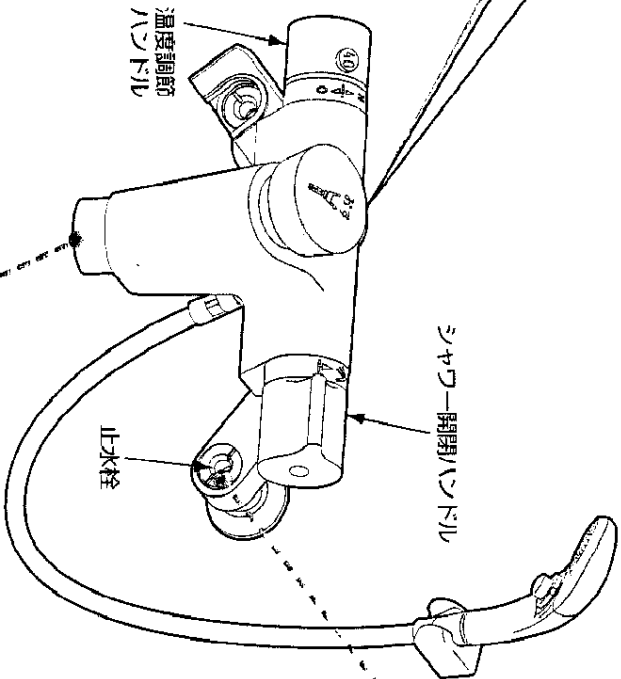


**A・C**から水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

**B**から水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどがないことを確認の上、再度取り付け直してください。



## 流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

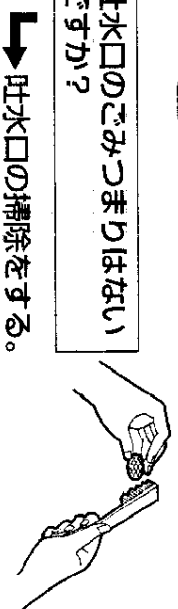
フィルターのごみつまりはないですか？



止水栓は開いていますか？



吐水口のごみつまりはないですか？



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。